

今年も12月8日がやってきました。74年前、日本はハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、太平洋の全域へと戦火を広げていったターニングポイントの日です。そして日本国民310万の命の代償に迎えた終戦から70年の今年、生き証人の方々のたくさんのお言葉が伝えられました。人類恒久平和を心底、思い知らされた節目の戦後70年でした。

過日、私は長崎の大浦天主堂を訪れました。150年前に建て

## 読者エッセー

### 長崎追想 12月8日という日

古畑 博子（66歳・松本市波田）

られた日本で最古の美しい木造ゴシック式教会です。別の名を「二十六聖人記念堂」。豊臣秀吉の命令により、殉教 思えました。

保武作の等身大の彫刻、二十六聖人記念像が、過ぎし年月と長崎の丘で磔刑(たつけい)となつたということです。秀吉が発したキリシタン禁教令こそ、慶長元(1596)年12月8日だったので、長崎の被爆医師、永井隆博士は著書の中で、「十二月八日という日は日本にとってい

で耳を剥がれ、京都、大阪を引き回され、歩き歩いて長崎へ、西坂の丘で磔刑(たつけい)となつたということでした。秀吉が発したキリシタン禁教令こそ、慶長元(1596)年12月8日だったので、長崎の被爆医師、永井隆博士は著書の中で、「十二月八日という日は日本にとってい

められた10万人を超え、方々の消えた命が、二十六殉教者と重なつてなりません。人の命が時の為政者の道具にされ、心の自由を踏み込んで思想や信仰を支配していく、それが戦争への道だと思つたのです。今も姿形を変えているのではないのでしょうか。私の誕生日も12月8日です。随分来てしまいました。この日を背負つての人生、自由と平和にとことん生きよつと、あらためて思う12月8日です。平和を！



西坂公園にて